

# 日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA) 会員ニーズアンケート調査 結果報告

2008年度はJVCAの中期ビジョンに基づく取り組みの完成年度であり、3年間の事業実績の評価を行うとともに、今後の事業展開について検討を行ってきました。また、2009年度からは段階的に「ボランティアコーディネーション力検定」と「JVCA認定ボランティアコーディネーター」の2つのシステムが新たに始まります。

そこで、今後の事業展開への参考資料として、JVCA 会員サービス委員会では、9月にすべての正会員・準会員を対象として、ボランティアコーディネーター業務に関する実態把握と、JVCAの事業（会員サービス）における満足度やニーズ把握を目的とした調査を実施しました。ここでは、その結果をお伝えします。

【アンケート実施時期】 2008年9月4日~9月30日

【回答者数】 111名（正会員95名、準会員16名）

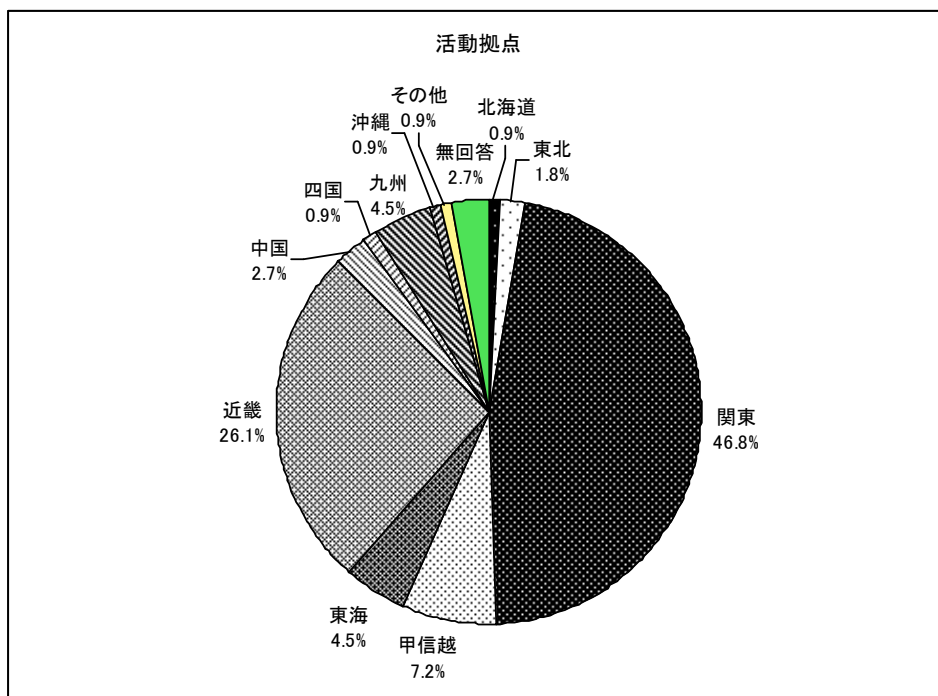
【回答率】 32.6%

## I. 単純集計結果と「2003年度JVCA会員調査」との比較分析結果

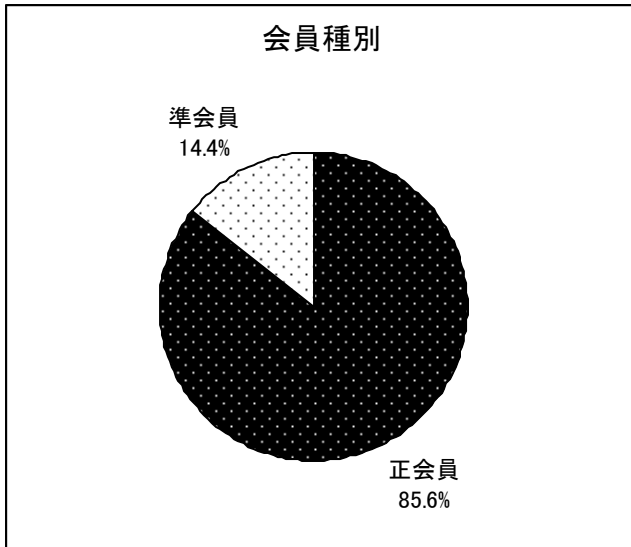
### 調査A ボランティアコーディネーター業務に関する調査（会員の実態に関する調査）

#### 1. 回答者自身のことについて

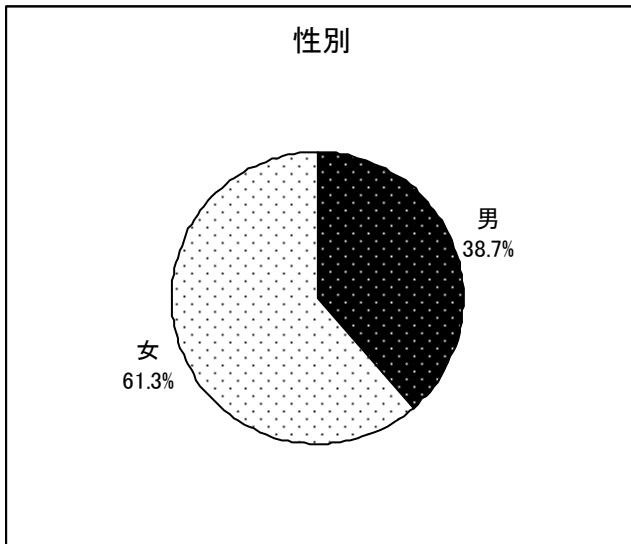
##### (1) 活動拠点



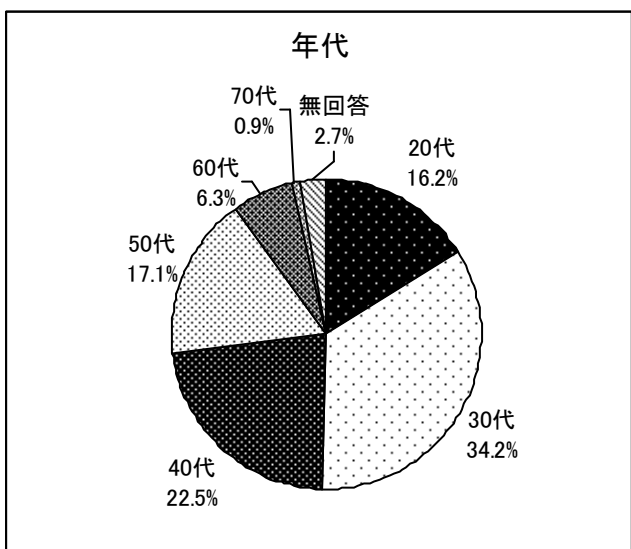
(2) JVCAの正会員・準会員の割合



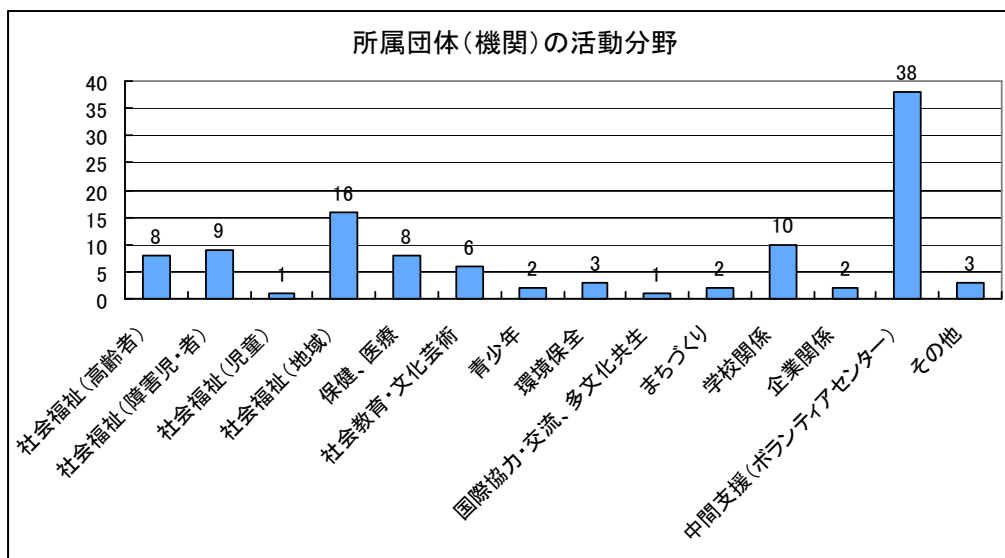
(3) 性別



(4) 年代



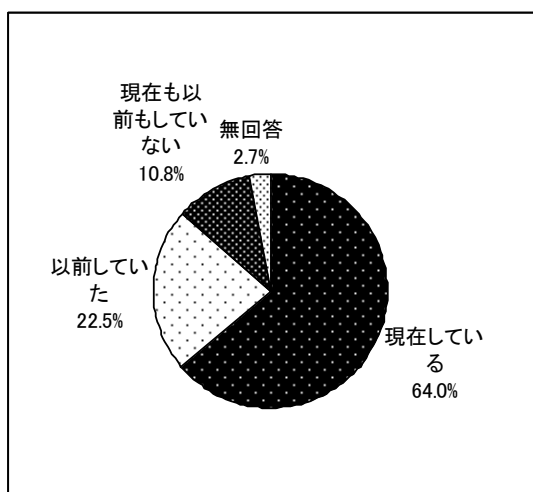
(5) 所属団体（機関）の活動分野



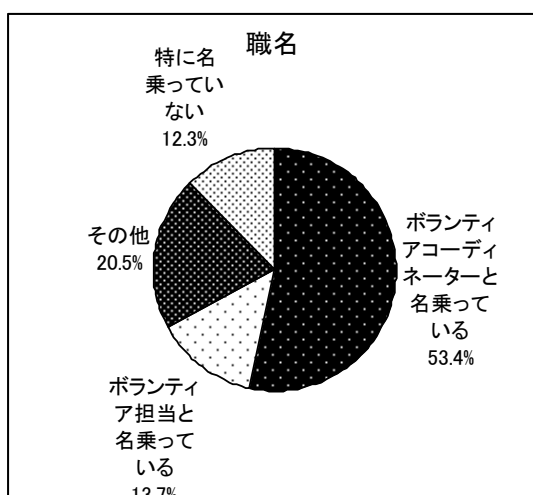
【その他の回答】

第三者評価事業（福祉サービス等）、ESD（持続可能な開発のための教育）、上記すべて、民間相談機関

(6) 業務としてボランティアコーディネーターの仕事をしている割合



(7) ボランティアコーディネーションに関する職名 (n=73)

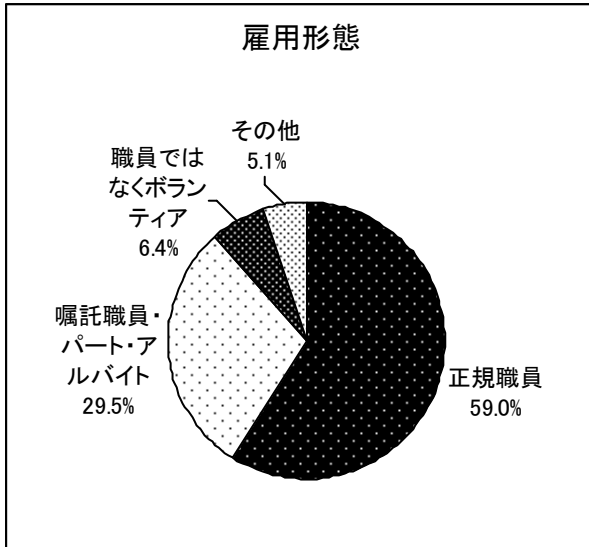


【その他の回答】

主査、ソーシャルワーカー、ボランティアセンター長、地域活動交流室長、主任指導員、NPO コーディネーター、主任、相談員、副所長、生活支援員、ユースワーカー、プログラムコーディネーター、地域福祉課職員、副代表理事、担当とコーディネーターを場によって使い分けている（5割ずつくらいの割合）

2003年度調査では、「ボランティアコーディネーターと名乗っている」人の割合が 32.4%であったため、大幅に増えていることが分かる。

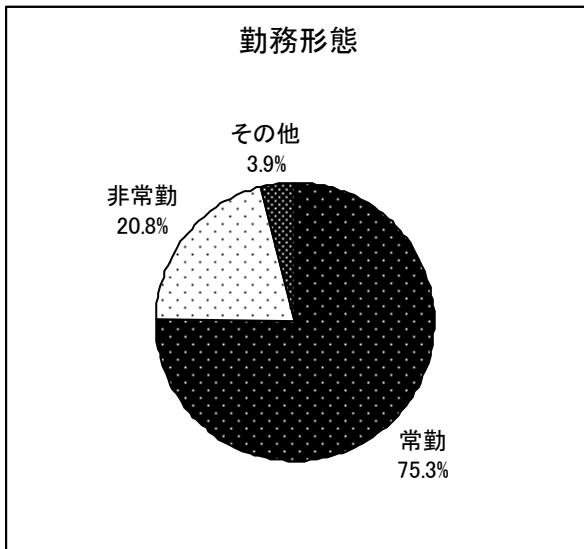
(8) 雇用形態 (n=78)



【その他の回答】

教員と兼務のセンター長、非常勤役員、非常勤職員、嘱託1年契約を毎年更新、理事長

(9) 勤務形態 (n=77)

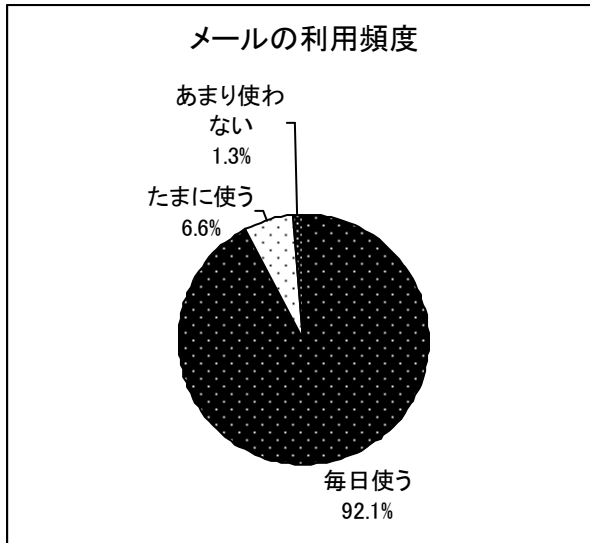


【その他の回答】

兼務のため不定期、臨時職員、9時～16時 週5日、週3日契約



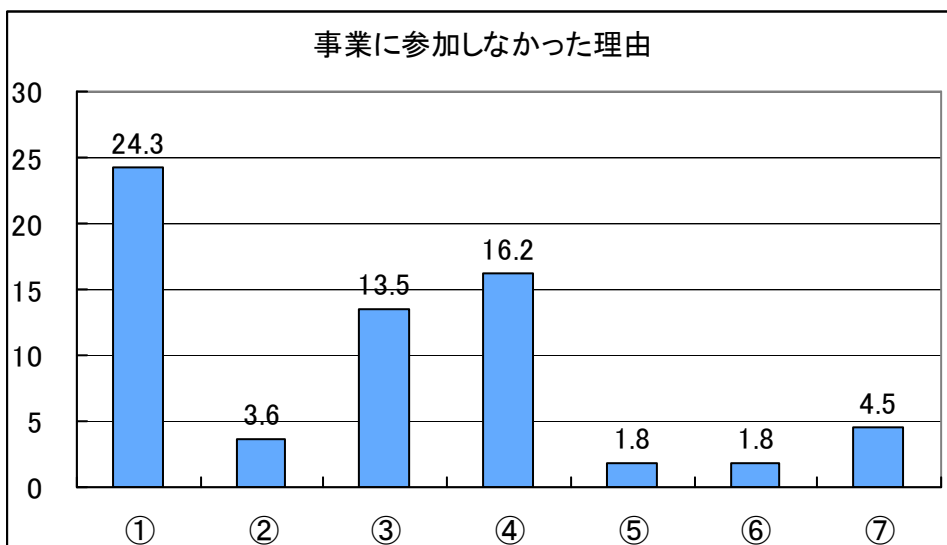
(12) メール利用頻度 (n=76)



**調査B** JVCAの事業に対する参加状況および満足度、ニーズ調査

1. この1年間(2007年8月~2008年7月)でJVCA主催の講座、研修やCoGoサロン等の事業に1つも参加しなかった理由(複数回答)

- ①業務等が忙しく、時間的に参加するのが難しい
- ②部署の異動があり、ボランティアコーディネーションを担当ではなくなったため
- ③開催地が遠い
- ④時期・時間が合わない
- ⑤参加費が高い
- ⑥関心のあるテーマがない
- ⑦その他



【その他の回答】

身体的理由、研修のスタッフとして参加したため、学習意欲が落ちた、今月入会したばかり

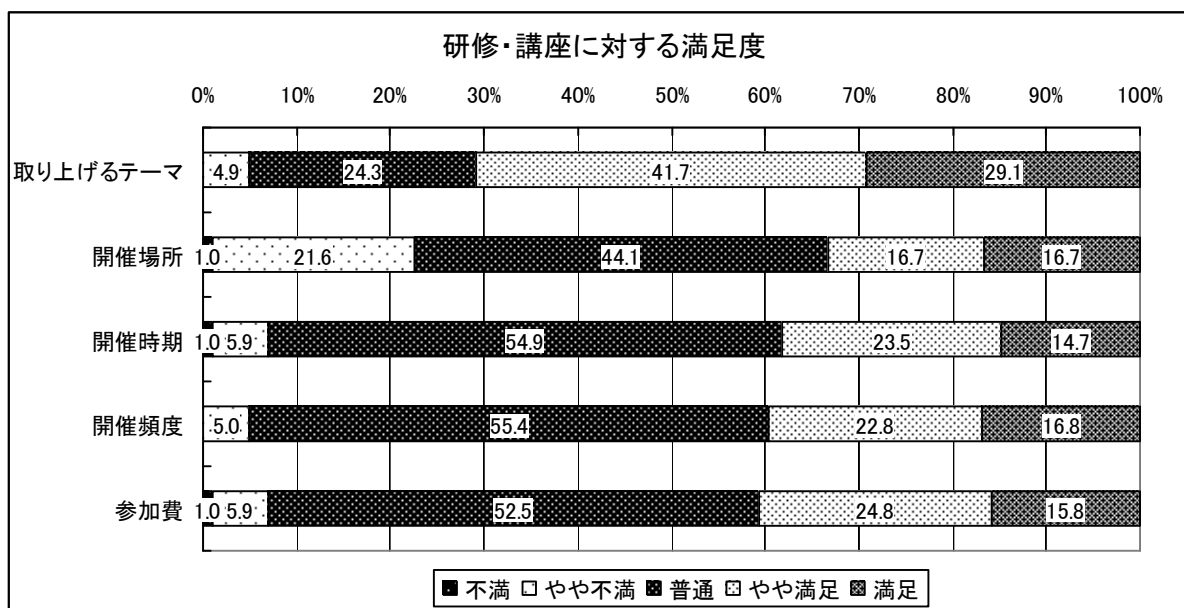
【より良くするための意見】

- ・ 開催地が遠いことが一番の理由。もっと近くであれば、時間がなくても参加できると思う。各地で開催できれば底上げができると思います。
- ・ 研修等の時間や場所について偏りなく開催していただけると参加できるものも増えるかと思います。
- ・ なるべく交通の便がよいところを希望します。
- ・ 地方開催や開催地域でのネットワークを活かした開催を実施。例えば都道府県社協とタイアップして社協が主催するボランティア事業とのコラボなど。
- ・ 関西、関東以外での開催が可能であれば、その方が良いが無理なら遠隔地会員への助成なども検討してほしい。
- ・ COCO サロンを地方都市でも広く開催できるよう、事務局サイドの積極的な働きかけ支援、協力があればと思います。
- ・ 広報時期が遅いものが、ときどきあるように感じます。
- ・ 年間計画を総会の段階で把握できると良いのですが…全国を3、4地区位にわけて順番に開催できればと思います。

2. JVCA の会員サービス満足度

【5：満足 4：やや満足 3：普通 2：やや不満 1：不満】

(1) 研修・講座に対する満足度

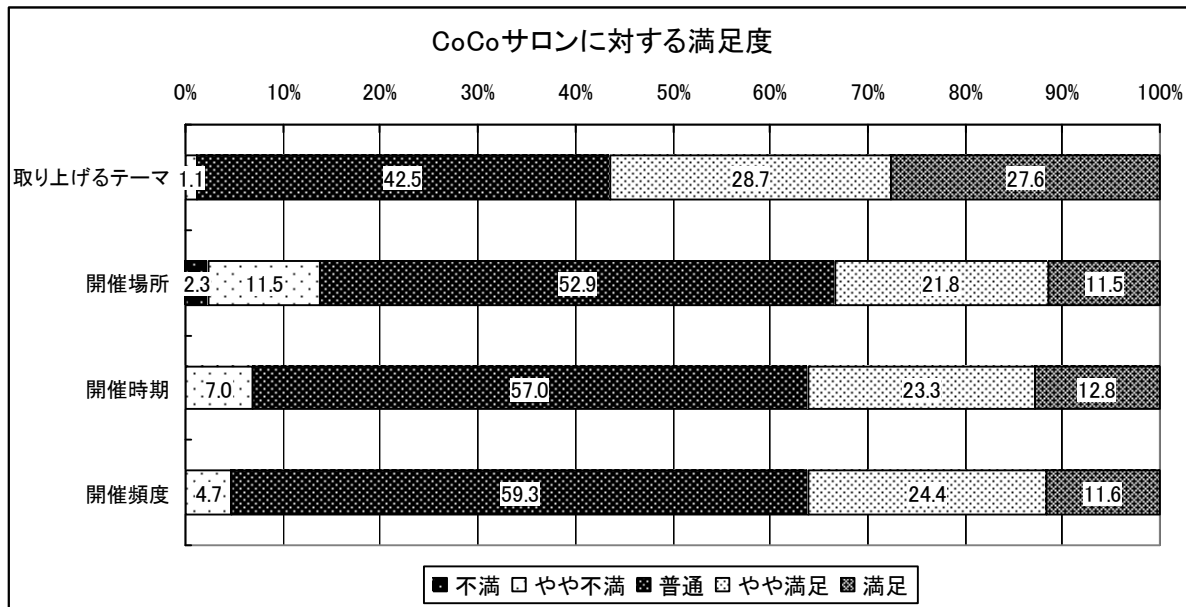


【より良くするための意見】

- ・ 大都市圏に集中している研修機会をもっと地方にも広げて欲しい。
- ・ 多種多様なネットワークを活かした幅広い分野の活動をテーマにして欲しい。また、そこにかかわる講師についても特定の人ではないほうが良い。
- ・ 基礎研修と課題別（応用）研修と（時期と場所の）バランス良く開催していただけると受講しやすい。また、新しくボランティアコーディネーター業務に就かれた人向けに、4月～7月くらいの年度の早い時期に基礎研修などを行なっていただけるとよいのではないかと思います。

- ・ 「基礎研修」よりも少しレベルアップした研修テーマがあればと思う。開催場所も、東京・横浜か大阪に限られているので、もう少し広がればいいと思う。JVCA単独主催でなくても、各地域の団体との共催などで広げられないだろうか。

(2) CoCo サロンに対する満足度

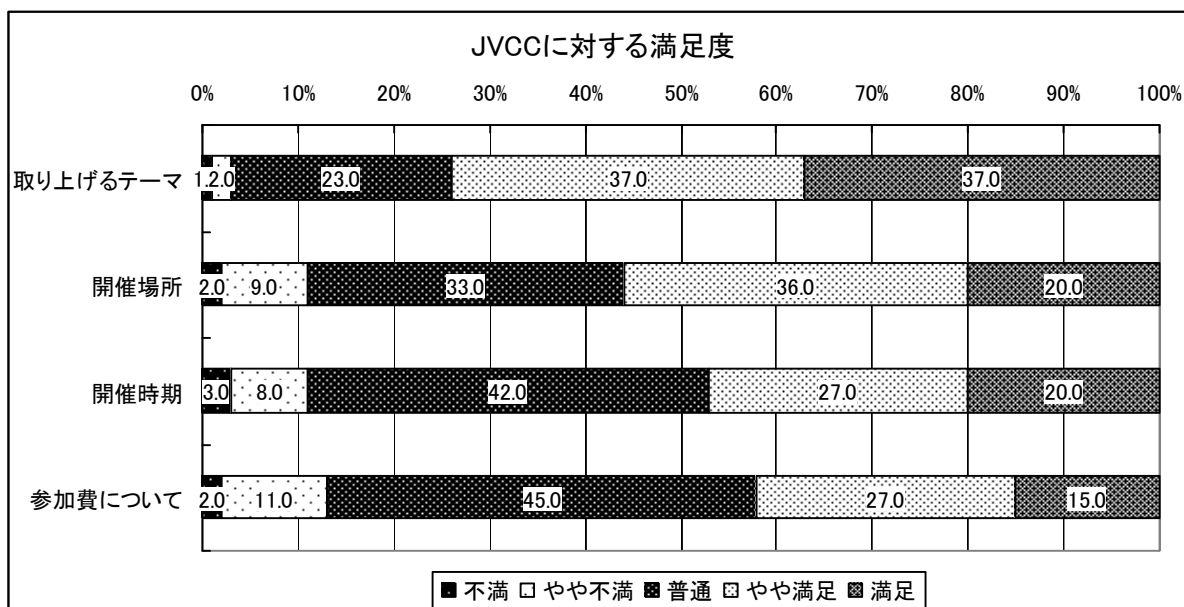


【より良くするための意見】

- ・ それぞれのサロンがどういった活動をしているか、全体で共有できる機会やツールがもっと多くあると周知・発展につながるのかな、と思う。たくさんサロンが開催されているので、ひとつずつの活動を丁寧にまとめると、冊子もできそう。
- ・ 仕方がないことだが、開催時期が重なってしまうことが多いように感じる。開催日が安定（定例化）し、おおよそでも年間スケジュール的なものがあると、前もって予定しやすく、もう少し参加できるのでは、と思う。
- ・ あくまでも会員の自主性による機会ではあるが、会員の少ない地域や、核になる会員がいないとなかなか難しい。前述の研修・講座の実施などや理事・運営委員の地域などを配慮しながら、戦略的に実施されることも必要に感じる。
- ・ 今の CoCo サロンは、テーマが無いと開けないような感じがする。もっと気軽に雑談が出来るサロンであってほしい。その雑談の中からテーマが見つければ・・・良いのではと考える。
- ・ 各地で、回数を重ねてきていっしょなので、CoCo サロンでの実践や課題を JVCC の場で発表する場があるとより、深まるのではないかなと思う。



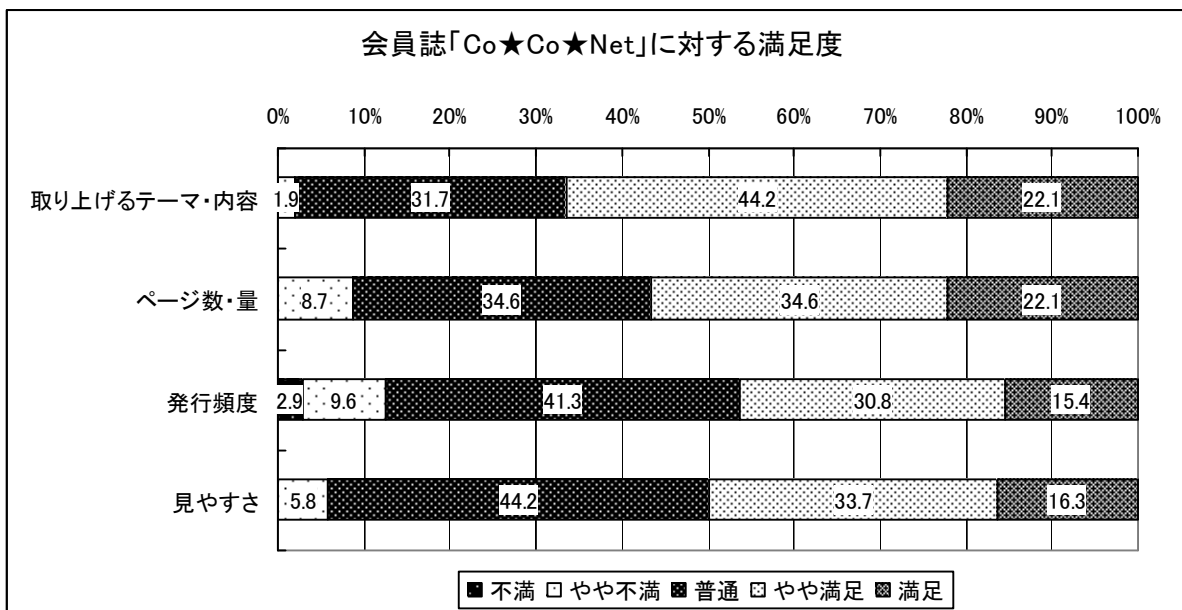
(3) 全国ボランティアコーディネーター研究集会（JVCC）に対する満足度



【より良くするための意見】

- ・ テーマが若干マンネリ化？しているのかな、と思う。継続してやるならば、積み上げがはっきりと目に見える形にしていくことで、深まった議論ができるのではないかなと思う。
- ・ テーマは良いが、もう少し掘り下げた内容の分科会を希望する。
- ・ 現場のボランティアコーディネーターが実行委員会に関わっているという強みをいかし、「一緒に考える」スタイルをもう少し意識した内容にしてはどうか。
- ・ 各地で、CoCo サロンの回数を重ねてきていらっしゃるのので、CoCo サロンでの実践や課題を JVCC の場で発表する場があるとより、深まるのではないかなと思う。
- ・ 企画のプロセスで、ネットワークの深化や問題意識の発展が進むものだけに、会員からの企画提案が受け入れられる工夫もあっても良いかもしれないと、思いついた。
- ・ 実行委員でなくても、サポーター参加を増やしてできるだけ広い分野からアイデアをもらう。
- ・ 2月末～3月初旬は年度末業務が多忙時なのでこの時期以外を希望する。
- ・ 今後、ボランティアコーディネーター検定や認定制をとるならば研究集会なども年毎に全国ブロック地区で開催する方がよいと思う。
- ・ 全国ネットでは難しいのでは。開催場所は全国から集まりやすいところが良いと思うので、現状の東京・関西を定着させてみては。

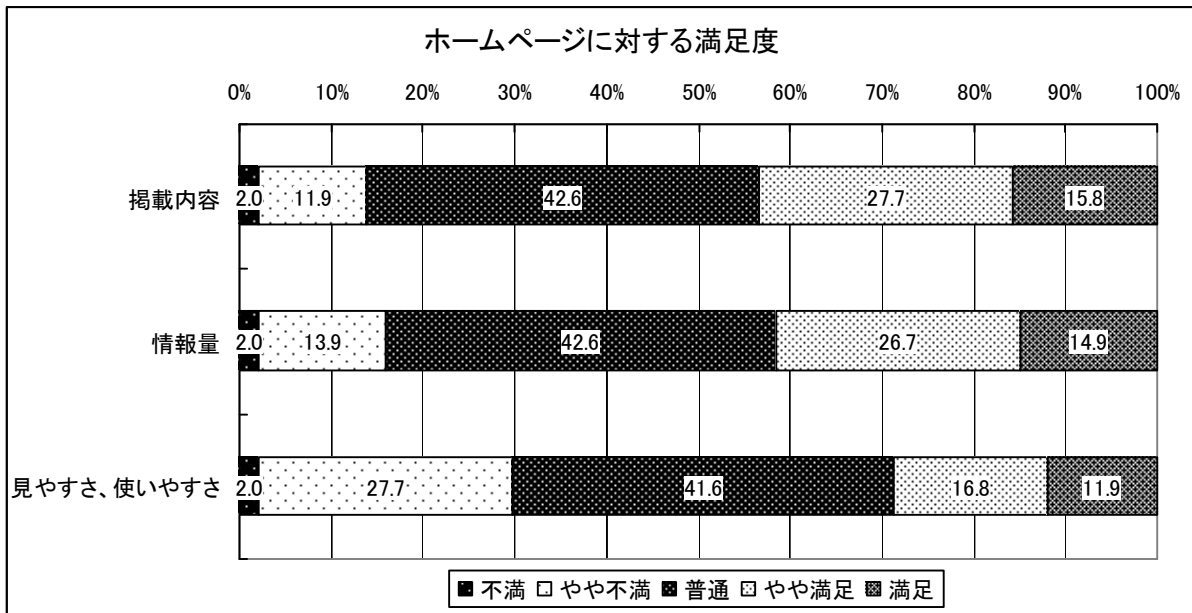
(4) 会員誌「Co★Co★Net」に対する満足度



【より良くするための意見】

- 文字が込みすぎている、ちょっと読みにくいかな、と思う。本文のフォントの種類は、明朝体が多いかと思うが、その点が少し読みづらいいかなと思う。ロゴマーク以外にもイラスト等をフندانに活用し、見易さを追及して欲しい。
- 発行頻度が今までどおりならもう少しボリュームが欲しい。ページ数が同じなら回数を増やして欲しい。
- リレーで掲載されている会員のメッセージがおもしろい。毎回、複数のJVCAの会員さんの声が聞けるのは、仲間の存在も意識できて、楽しい。各分野で活躍されている方を取材し、仕事内容や日頃の思い、職場や関係機関の方との関わりについて取り上げてほしい。情報提供中心のメルマガとの差別化を図るため、インタビューや取材記事などの企画記事のいっそうの充実を期待する。
- コンテンツをウェブともうまく連携できればよいと思う。

(5) ホームページに対する満足度

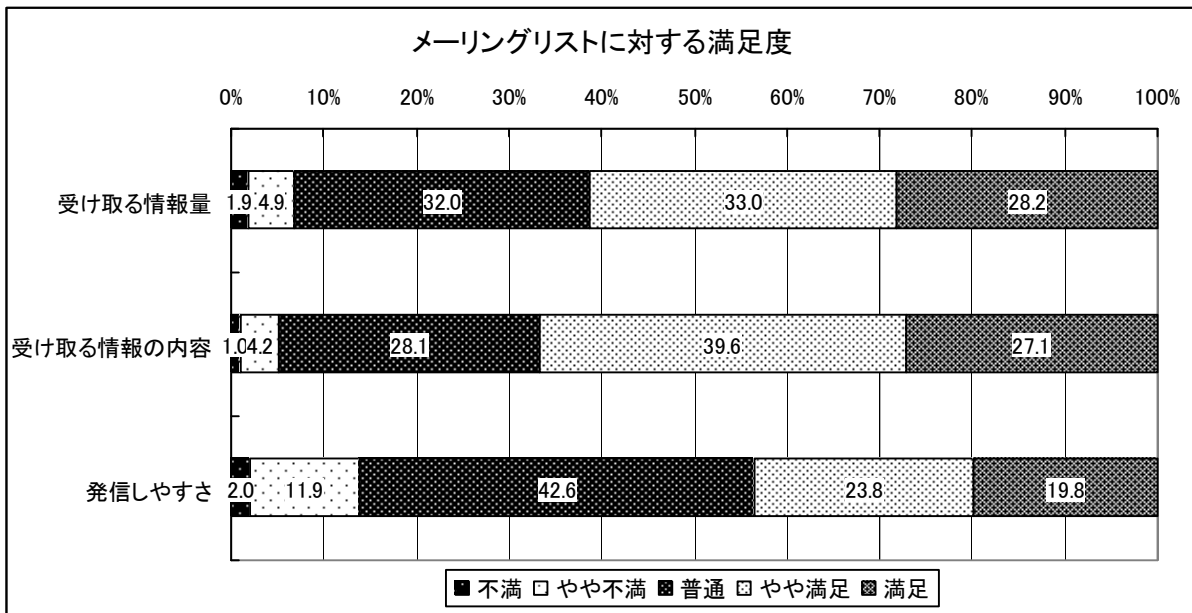


【より良くするための意見】

- ・ レイアウトを整理すると見やすくなると思う。
- ・ 情報を探し出すのに苦労している。文字やクリック箇所を大きくし、もう少し階層分けを行い、ページスクロールしないですむとありがたい。
- ・ XOOPS などオープンソースの CMS に切り替え、担当別の複数管理体制で情報発信・共有を図ってはどうか。
- ・ トップページに情報量がありすぎて、探しにくいと感じることが多々ある。また、古い情報と新しい情報などが混在しているのも気になる。トップページに関しては、全体としてももう少しスッキリしてもよいのではと思う。サイト全体の情報量はもう少し蓄積情報などがあると役に立つと思う。

↑以上のご意見も踏まえ、2009年1月よりホームページをリニューアルしました。

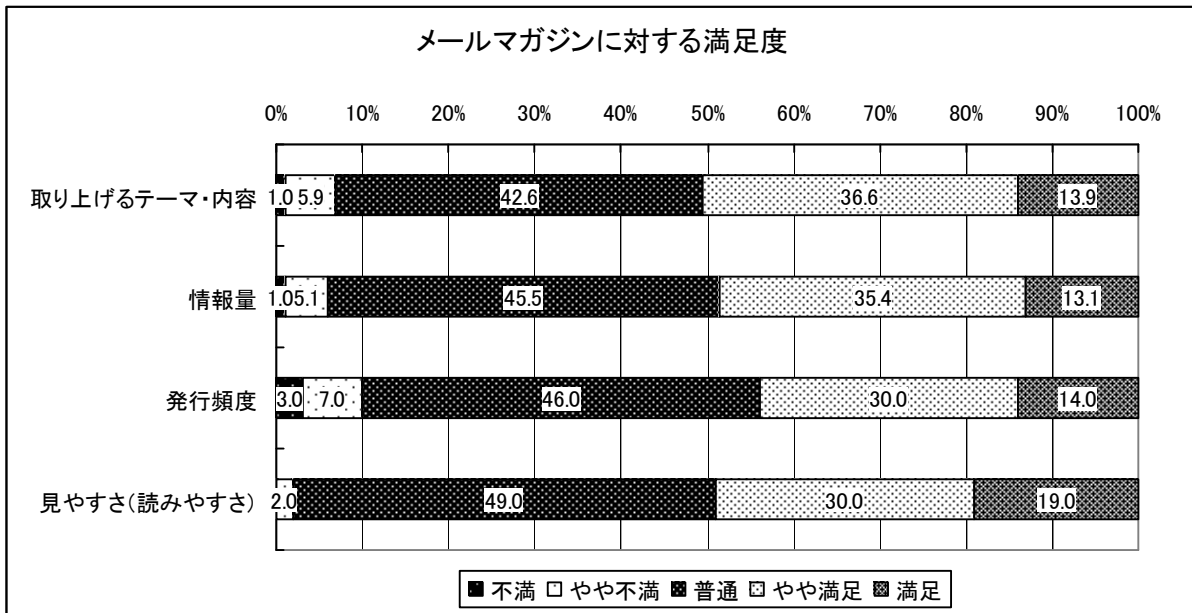
(6) メーリングリストに対する満足度



【より良くするための意見】

- ・ 「気軽にご案内」をするには、なかなか勇気がいるなあと思う。どこまでの情報をお知らせとして流してもよいか、そのラインを迷う。JVCCやメルマガで「こんなときにMLを使ってみよう」という呼びかけがあつたりすると、ちょっとためらっているシャイな方も発信しやすくなるのかも、などと思う。
- ・ どのような方が登録されているかわからないということもあり躊躇する。登録者の一覧を年に何回か公表するのもひとつの方法かもしれない。
- ・ 会員なので自分ですればいいのだが、イベントPRが続く際には、テーマ性のある話題(議論)を事務局や役員さんが振っていただけると関心が高まると思う。
- ・ 今の全員に発信されるメーリングリストも良いが、所属や分野別、テーマ別に分かれて、具体的な討議・交流ができるメーリングリストがあつたら、コミュニティづくりがしやすく、具体的な悩み相談などもできて良いのではと思う。

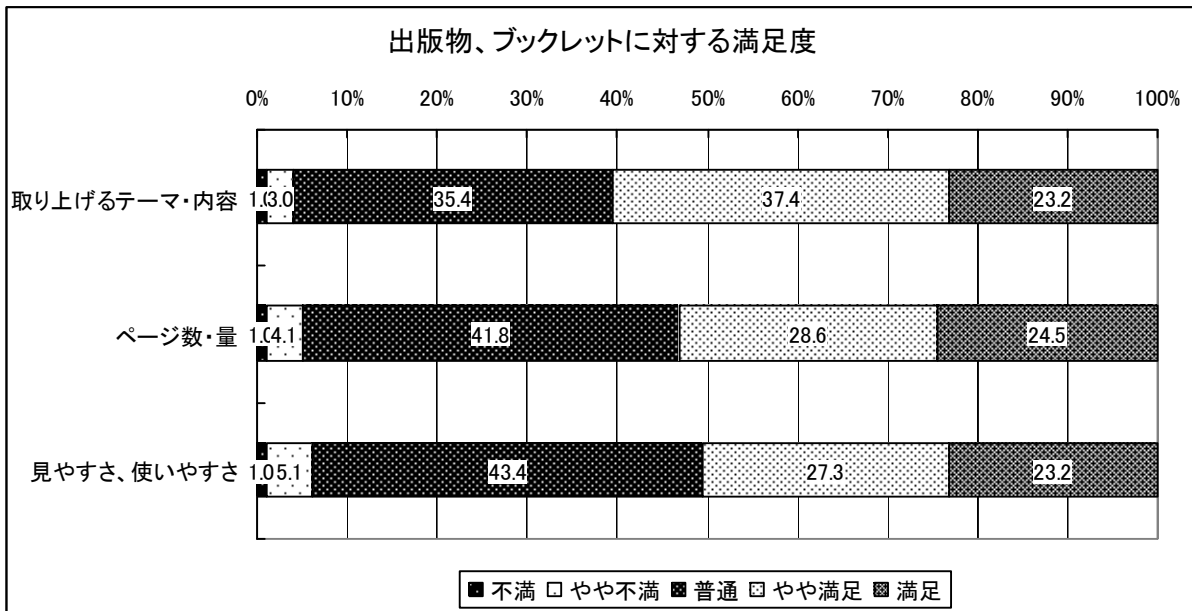
(7) メールマガジン「JVCA めるまが Co★Co★Net」に対する満足度



【より良くするための意見】

- ・ ほぼ定期的に送られてくるので安心感はある。ウェブとの連動（「ウェブに●●をアップしました」という形でメールマガジンで紹介し、ウェブを見てもらう）で、発信量を増やしていけばよいのではないだろうか。

(8) 出版物、ブックレットに対する満足度



【より良くするための意見】

- ・ ブックレットは、取り上げる分野の幅を、もう少し広げていただけたいなあと思う。各分野それぞれに、ちょっとした冊子があると面白いかなあと思う。（もし、既に存在しているようでしたらすみません）
- ・ 「社協ボランティアコーディネーターマニュアル」「基本指針」を、お守りのように持ち歩いている。同様に困ったときにちょっと開ける、A5サイズの冊子が充実するとうれしい。

### 3. JVCAに期待すること

#### (1) JVCAの会員になって一番良かったと思うこと

- ・ MLの情報は参考になります。
- ・ CoCoサロンもよい取り組みだと思いました。
- ・ メーリングリストでいろいろな見方、考え方に触れることができる。
- ・ CoCoサロンなどで新しい人との出会いがある。
- ・ 研修に行くことができなくても、メーリングリストや情報紙等で最新情報を得ることができる。
- ・ 幅広い分野、幅広い地域のコーディネーターやコーディネーションに関わる人たちに出会えたこと。
- ・ ボランティアコーディネーションにとりくむ熱心な人々に出会えること。
- ・ 全国のコーディネーターの方とつながりができ、先進的な事例など参考にさせていただきながら、日々のコーディネート業務に活かすことができている。
- ・ 各地・各分野からの意見を聞かせていただけること。
- ・ 研修会で、同じような悩みを持ったコーディネーターさんと話す機会が得られたこと
- ・ いろんな分野で活動するコーディネーターと知り合えること
- ・ ボランティアの本質に常に触れ続けることができること。
- ・ 職場以外でのお仲間に出会えたこと。様々な分野で熱心な取り組みをされている方とお会いできて大変良い刺激をいただいています。
- ・ ボランティアコーディネーターという少数の仕事仲間がいることがチカラになっています。
- ・ 年1度であるが、全国ボランティアコーディネーター研究会の交流会で、全国の方と会え、情報交換ができる事が良かった。
- ・ 全国各地のボランティア活動に関する情報がJVCAを介して伝わってくる。全国各地の取り組みの様子、内容が具体的なレベルで伝わりわかりやすい。同じような悩みや苦勞を抱えている方たちと繋がったような気がして勇気づけられる。
- ・ 異なる分野のボランティアコーディネーターと知りあうことができ、ボランティアやボランティアコーディネーションの価値について共有することができたこと。
- ・ 同様の仕事をする職場以外の方との出会い・交流、ネットワークが広がったこと。全国各地の皆さんの様子がわかる。
- ・ 研修会に参加出来ること。一人職場が長かったので、同じ仕事をしている方々との勉強会はとても有意義なので。
- ・ 運営委員を経験させていただけたこと
- ・ CoCoサロンを立ち上げ、多くの良き仲間にも恵まれたこと
- ・ ML等を通じて、他地域で開催されている企画などの情報交換ができること。
- ・ メーリングリストで沢山の情報が得られること。
- ・ ボランティア・コーディネートという、一般的には説明が難しいキーワードで、つながれる仲間と数多く出会えたこと、また実際には出会えないまでもメーリングリストやニュースなどを通じて、多くの仲間の存在を感じられることは非常に嬉しいことです。あと、業界の有名人と知り合いになれることも嬉しいです。

- ・ 多様な人たちとの交流、課題や悩みの共有化が図れること。
- ・ 全国的な動きや、多様な考え方を知ることができる。研修の情報がいち早く入手できる。
- ・ 現場でがんばっている多くの仲間に出会えたこと。
- ・ 研修会や情報誌等から同じ立場の方の意見を聞けたり、先駆的な活動を知ることが出来たこと。
- ・ ボランティアコーディネーターとしての自覚と誇りを持つことができた。
- ・ 多くの人と知り合うことができ、乏しい経験しかなかった私の「ブレイン」になってもらうことができた
- ・ 活動のよりどころができた。
- ・ 仕事(ボランティアコーディネーター)のことなんだけど、職場や関係機関とおつき合いでもなく、もうちよっと違うところでつながっていることができるお仲間（図々しくてごめんなさい）ができたことが、一番よかったと思うことです。
- ・ 人脈が広がった。
- ・ ミッションに共感するので、励まされること。
- ・ オピニオンが参考になること。
- ・ 会員同士のネットワークで、つながりが持て、コーディネーターとして色々な場面で向上していくように感じられていること。
- ・ 全国各地で実際にコーディネーションをされている方々と知り合えたこと。その人たちと話をすることで、悩みを共有できたり、コーディネーションについて具体的な解決方法の糸口を見つけることができたこと。
- ・ 人・ほかの組織とつながりができたこと。また、運営委員になったことで、運営側の視点で組織に求められていることを考えるようになったこと。
- ・ 通常の業務にも役に立つニーズやシーズを見つけられる。
- ・ 基本指針など、考え方の整理ができること
- ・ 全国の様々な分野のボランティアコーディネーターの方々と出会うことができたこと、また、コーディネーターについての理論と実践を文書化、共有化し、共生社会に向けて地道な努力を積み重ねる意欲を支えてくれていること。
- ・ 同じ思いでVCOに取り組んでいる様々な人に出会えていっぱいパワーをもらったこと。
- ・ メーリングリストの意見交換は興味深いです。
- ・ ココサロンや研修などの情報が入手できること。特にメーリングリストに参加することにより、さまざまな人の考え方や地域での状況なども分かるようになった。
- ・ 人脈が広がったことと、仕事における見識がひろがったこと
- ・ 相談事があるときに知っている人が各地にいることは心強いです。
- ・ 他施設でのボランティアに対する取り組みや課題などを共有できることです。
- ・ メーリングリスト等で情報が来ること。
- ・ メーリングリストの情報交換を参考にさせていただけることです。
- ・ 質の高い討議の研究集会。
- ・ 全国に分野、セクターを越えた同志を得られたこと
- ・ 志を持って、ボランティアコーディネーションに取り組む人たちとのコミュニティに参加できること。
- ・ メーリングリストで交わされる情報交換を読むと、全国のようすやコーディネーターの実態が想像できて参考になります。
- ・ 何年か前に京都で、400~500名のメンバーがW.S.で指針づくりに参加した。あのW.S.は「見事」と思う。(それまでのプロセスも含め)

- ・ 各地の方々、意欲ある方々に、メール上やJVCCなどで意見交換できること。私が相談を受けた方々へ、JVCAの存在を伝える喜びがあること。(ボランティアコーディネーターの重要性を思っているのです)

## (2) JVCAの事業として「あると良い」と思うサービス

- ・ 積極的な講師の派遣や関係機関とのタイアップ
- ・ 講師派遣が費用面でもう少し交渉の余地があると嬉しいです。
- ・ 研修以外にも、現場に対して、もっとアプローチできるような事業があると、コーディネーターやボランティアに関する理解が深まるのかなと思います。(具体的に「これ」というアイデアは思いつきなのですが…)
- ・ 全国の会員にとって、日々ネットワークできる場(COCOサロン)の充実かな?
- ・ 今後、「ボランティアコーディネーター力検定」と「認定ボランティアコーディネーター」のシステムが稼働するならば、これまでの事業を見直す必要があると思われる。特にホームページについては高品質なものを提供し、常にアクティブな状況にする必要がある。全国から検定、認定の情報を得るために使われるのがホームページとなることは必至である。JVCAの検定、認定ボランティアコーディネーターの質=ホームページの質と言っても過言ではない、一般企業などもトップページはその企業の顔となっている。また、携帯サイト版も当然必要である。
- ・ 地方向けの啓発的研修会があると良いと思う。
- ・ 今後いろいろなことが気軽に相談できる機関であっていただければよいと思います。
- ・ ボランティア活動支援金情報の提供
- ・ 交流を深めるような機会があるとよいと思います。また近隣の会員とお知り合いになれば嬉しいです。
- ・ 今後、認定等の事業をされるが、更に、ボランティアコーディネーターの認知を社会に広報するように取り組んで頂きたい。
- ・ 全国各地域のボランティアコーディネーターのために、コーディネートやセンター運営等に関する様々な個別相談をインターネットで行っていただけると助かる。
- ・ 行っていることですが、ホームページ等の利用の仕方、最新情報をメーリングの中にもお知らせいただければ幸いです。
- ・ 社会に向けての発信(ボランティア観、ボランティアコーディネーターの専門性など)をさらに強化してほしい。
- ・ オリジナルのノートや、ボールペン、ピンバッチなどを作り、販売。啓発活動として。普段使いで使っているときに、「こんな活動があるんだ～」と話すきっかけにもなる。以前あったボランティアの方に配布するカードは、よかった。研究集会毎に1つ作り、販売するとか。
- ・ 1年に1回の研究集会ではなく、もう少し小規模にしたブロック集会。
- ・ ボランティアコーディネーションに関する相談窓口
- ・ 災害時の情報速報
- ・ NPOや社協と提携して、認定コーディネーター資格と就職が連動するような夢のような事業があればいいですね。
- ・ サービスとしての事業を広げないようにすること。サービスではないが、各センターのスタッフが孤立化してきているのが目立ちます。特に、自治体の政策との関係でハザマに入り、どのように対応しているのか躊躇しており、ゆっくり話を聞くと同時に対策を一緒に考えていく仕組みが必要になってきているように思います。
- ・ スキルアップ研修とマインドアップのための交流会



- ・ 会員交流サービスの拡大。
- ・ 講師料が高い。派遣してほしい講師が遠方のため依頼しにくい。
- ・ ボランティアコーディネーターの地位向上のための啓発。
- ・ ボランタリーな参加のプロセス支援の専門家ということで言うと、その役割はまだ狭く捉えられがち。自治の担い手を育む方向性や理論、実践方法がさらに研究していけるといいかもしれません。
- ・ 会員アンケートの結果を発表する。
- ・ 会員事例発表会（分野別に分科会形式）
- ・ ホームページに地域別にイベントや講座の書き込みができる
- ・ コーディネーターアドバイザーの設置（窓口開設）
- ・ 月一回の定例会や支部など
- ・ 講座に参加できない人には、講習料＋DVD料金等での通信会員制の参加も認めてくださるととても助かります。（もちろんレポート提出が条件となってもいいと思います）
- ・ ボランティアコーディネーター空白地帯をつぶしていくような取り組み。アドボケイト事業。
- ・ 地域ごとのボラセンフィールドワーク交流
- ・ 研究助成や研修助成制度などはいかがでしょうか。（思いつきですけど）
- ・ ボランティアコーディネーター学会（大学の研究者の集まり）を設置し、現場と大学の研究をつなげ、言語化、社会化していく。
- ・ 日々のVCO業務を応援するようなコンサル的な事業（各地にランチをつくる）
- ・ 全国の施設にこの組織があることを伝えること。おそらく知らない施設が多いと思う。
- ・ ボランティアコーディネーターの役割に関して、またボランティア受け入れのガイドラインがあると良いと思います
- ・ コーディネーションで困った時に相談できるシステム（MLで相談できますが、個別にできたほうがよいのでは）
- ・ 事業というよりもボランティアコーディネーターという仕事や存在そのものをもっと広くアピールしていけるといいかと思います。
- ・ JVCAの主催事業、ではないかもしれませんが、地域・エリアごとにボランティアコーディネーションを考えたり、学んだり、実践を持ち寄りする場をもっと増やしていくことが大事のように思います。地域の社協や中間支援組織と組んだ事業を行い（役割分担して）、JVCAとしては小さな力だが、社会的には大きな成果を生む、という方向をもう少し考えてみてはいかがでしょうか。
- ・ コンサルティング業務と人材派遣
- ・ ボランティアコーディネーターの現場の声をもっと引き出し、必要とされている研修や交流等をもっと身近で出来るような体制づくりが必要だと思います。たとえば、地方、福岡支部などでファシリテーションや傾聴、マネジメントなどの講座をJVCCに行かないでも勉強出来ると助かります。たまに集まっても参加者が少なくがっかりしますが魅力ある講座があれば参加者や会員が増えると思います。今のままでは、他の人に勧めてもメリットが少ないと言われ、私自身も会員を継続するかどうか迷っています。
- ・ 先日、イギリスの「サードセクター事務局長協会」に出向いた際、事務局長をはじめ職員の給料などの待遇調査や、2週間の1度、トピックに対する意見徴集をメールで行っていて、こうしたことをJVCAで出来ても良いなと思いました。
- ・ ツール、フォーマットなど実務的なツールの紹介、提供などにも力を入れられれば。

- ・ 講座 CoCo サロンなど、興味深いものはたくさんありますが、そのたびに交通費をかける余裕もなく、通信衛星で受講できたらなあ・・・と思うことがあります。

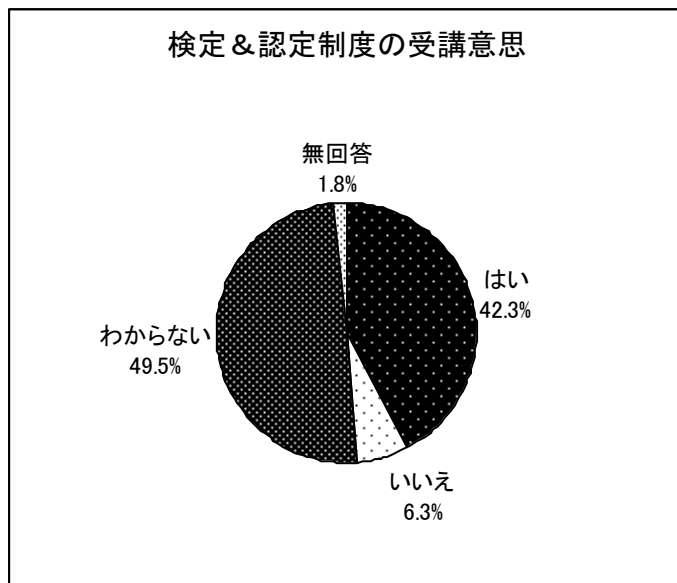
### (3) 理事、運営委員、事務局に対しての意見

(劳い、感謝の言葉が多数。ここでは意見のみ、掲載)

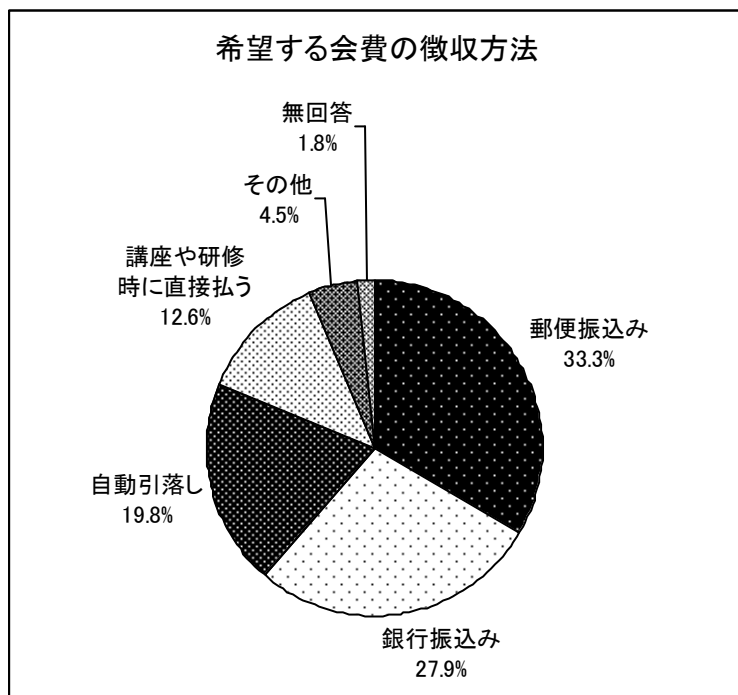
- ・ そのほかは、一般の、JVCA の会員の方々に、もう少し事務局や運営委員の活動の様子が、もっと伝わるようにすると、運営に興味を持ってくれる会員さん等も増えるのかなあとと思います。
- ・ ボランティアコーディネーターの社会的認知と地位向上に努めてほしい。
- ・ 国の施策等については、常に情報収集を行いボランティア関係のものなどは、会員に情報提供してほしい。本年度の文部科学省の新規事業である「地域ボランティア活動支援センターの在り方に関する特別調査研究事業」など、深くボランティアコーディネーターに関わるものなどはいち早く情報提供してほしい。
- ・ ボランティアコーディネーター協会として国の各省庁においてボランティアに関する施策提言を行ってほしい。青少年育成施策大綱などでもボランティア活動を入れる提言をすることが、必要なのではないだろうか。
- ・ 適度なメンバー交代があり、民主的な運営ができていると思う。
- ・ 少ない人員にもかかわらず、連絡したときにすぐに情報提供や、アドバイスをしてくださることがうれしい。
- ・ MLへの書き込みを増やして欲しい。せっかく全国の広い地域に理事・運営委員がいるのなら、対話の機会を増やし、サロンなども展開できていない地域や領域、テーマを多様に行って欲しい。
- ・ JVCAはいろいろと厳しい状況のなかで活動しているコーディネーターにとって、本当に大きなこころのささえだと思っています。
- ・ 理事も運営委員もそれぞれが本来の仕事を抱えての活動ですから過重にならないようにと思います。ただ、理事、運営委員が中心となりますが、CoCo サロンにも参加できないでいるひと地域にはいますので、その人たちの代弁者として声を拾い上げ理事会、運営委員会に反映できる仕組みが考えられるといいですね。
- ・ 事務局にメールを出しても、お返事が来ないことが多い。もう少し事務局体制を充実してもらいたい。
- ・ ボランティアコーディネーターにとって、何かあったら（なくても）教えてもらえる人のネットワークは、宝物でもあり、生命線でもあると思います。理事、事務局、運営委員のみなさんには、そんな存在で合ってほしいと思います。
- ・ 運営委員も任期制にするなどしてもっと活性化を図る。
- ・ 33年ぶりにUターンした故郷の社協はまさに寝たきり社会福祉協議会でした。ボランティアセンターもなし、ボランティアコーディネーションする専任の非常勤スタッフすらいない。現場のボランティア担当兼務職員は専任のコーディネーターをおく必要すら認識していない。こうした地域がまだまだたくさんあるのでは！そうした地域こそターゲットにしていくべきではないかと考えます。
- ・ ボランティアコーディネーションに関して専門的なレベルに位置づけようと努力をされていることには大変御苦勞でありかつ敬意を表します。
- ・ 講師の紹介（ボランティア研修システムの形なども提案していただきたい）
- ・ 設立〇周年イベントをやるのはどうですか
- ・ JVCAの理事・運営委員が、JVCAの事業活動で、普段どんなことをしているのか、どんなところをがんばっているのかが、見えるようになれば良いと思う。今は、あまり見えていないので、もったいないような気がします。
- ・ いつも手の届かないところにいらっしゃるような気がして、メールでの会話も傍観者のような気持ちになってしまいます。

- ・ 事務局長の負担が多すぎると思うので、事務局スタッフを強化することが是非とも必要だと思っています。
- ・ 理事、運営委員の力を活かすためにも、事務局体制を強化できればいいですね。

4. 検定&認定制度について。この制度が始まったら研修を受講し取得しますか？



5. 希望する会費の徴収方法



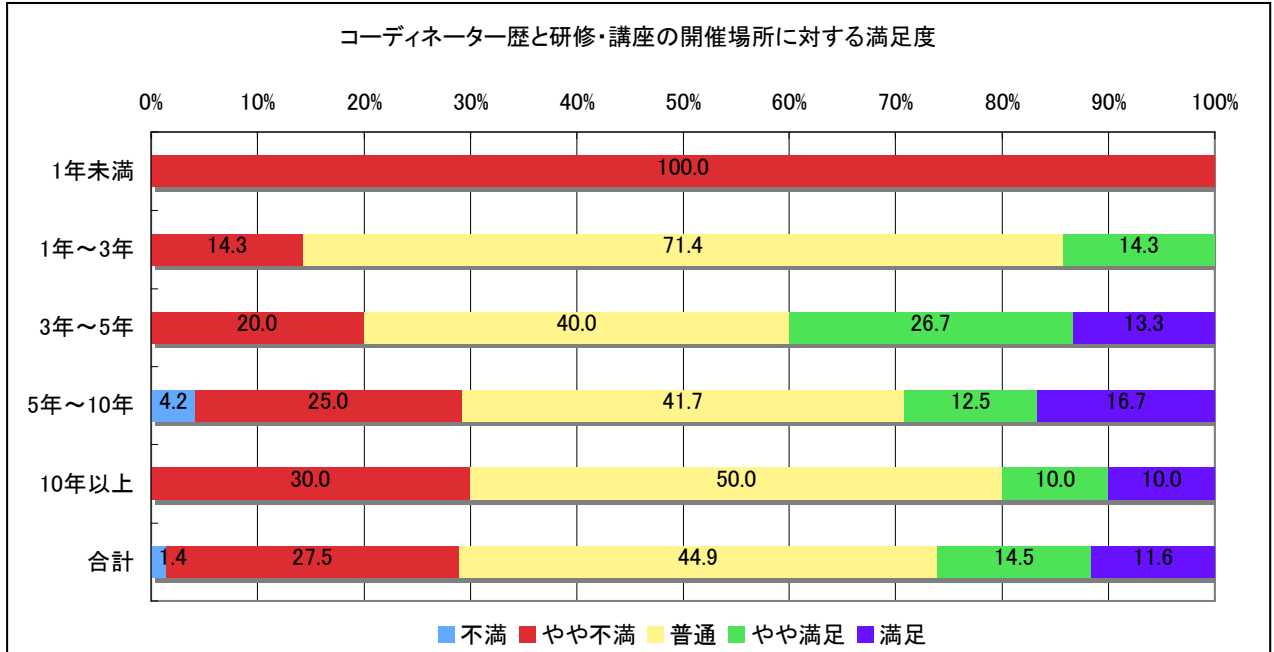
【その他の回答】

コンビニ決済、クレジットカード決済

## Ⅱ. クロス集計結果

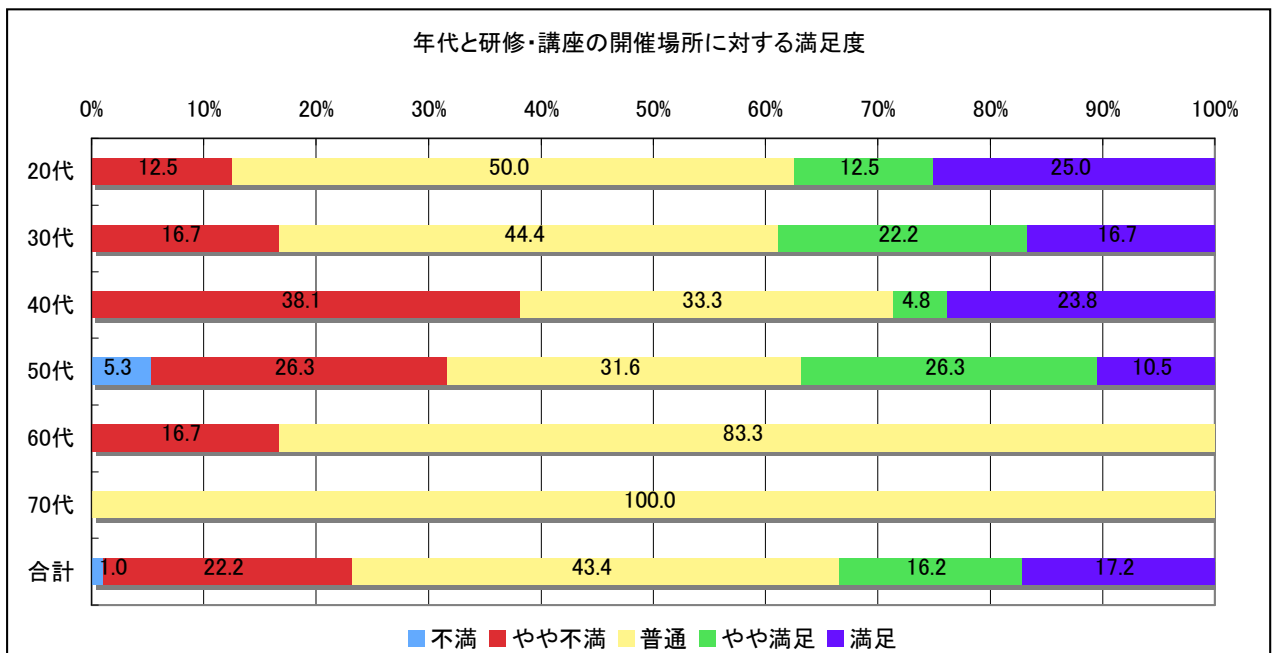
### 1. 研修・講座の開催場所に対する満足度について

#### (1) 研修・講座の開催場所に対する満足度とボランティアコーディネーター歴



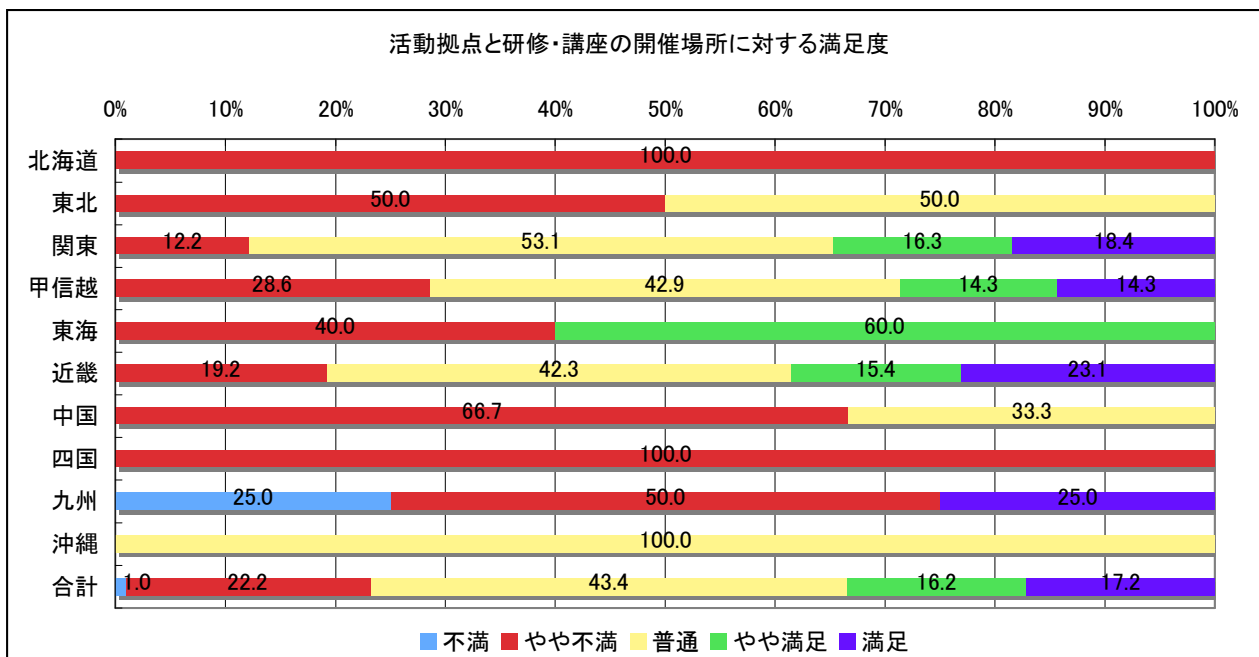
コーディネーター歴が1年未満の人は少数（3人）のため、「やや不満」が100%になっているが、それを除けば、経験年数が長い人ほど開催場所に対する不満が多い傾向にある。

#### (2) 研修・講座の開催場所に対する満足度と年代



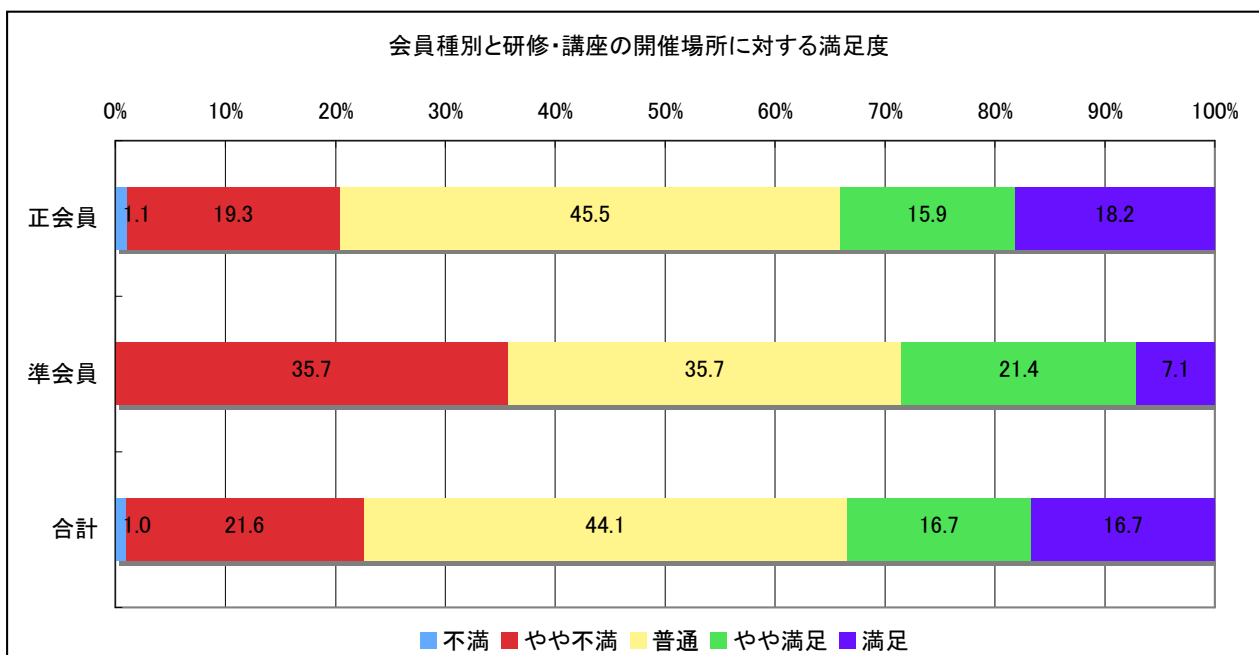
研修・講座の開催場所で不満が多いのは、40代、50代である。

(3) 研修・講座の開催場所に対する満足度と活動拠点



研修・講座の開催場所で満足度が高いのは、近畿・関東である。

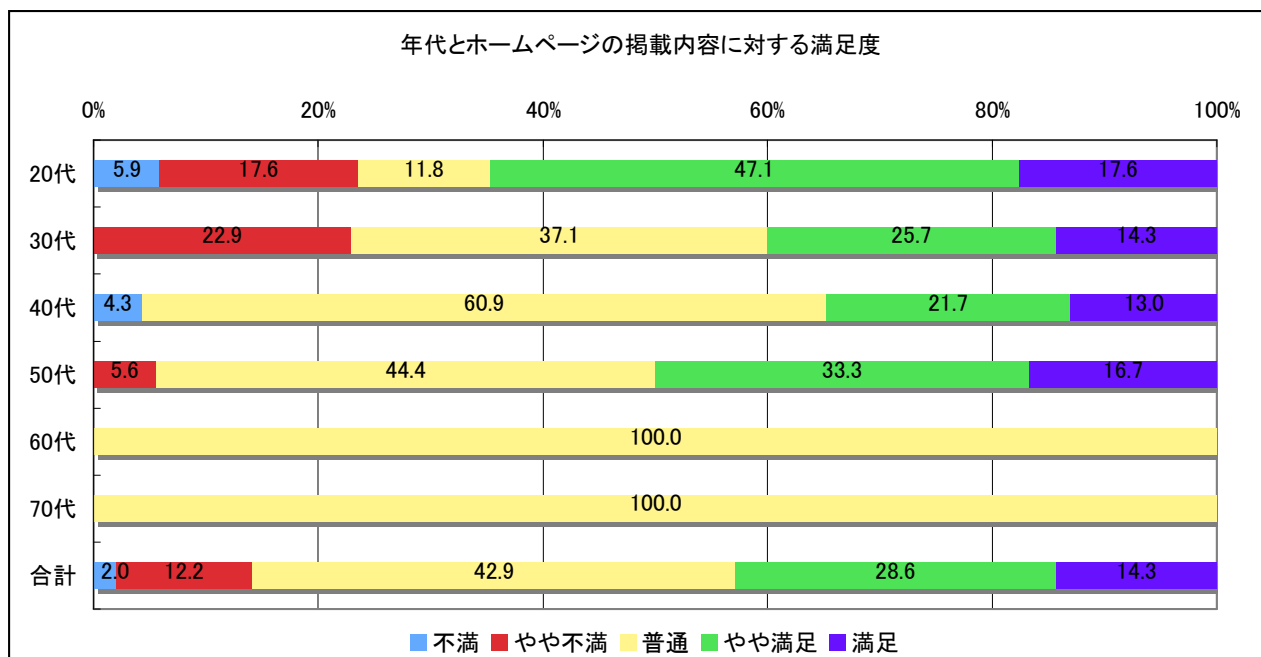
(4) 研修・講座の開催場所に対する満足度と会員種別



研修・講座の開催場所への不満は、準会員のほうが正会員より高い。

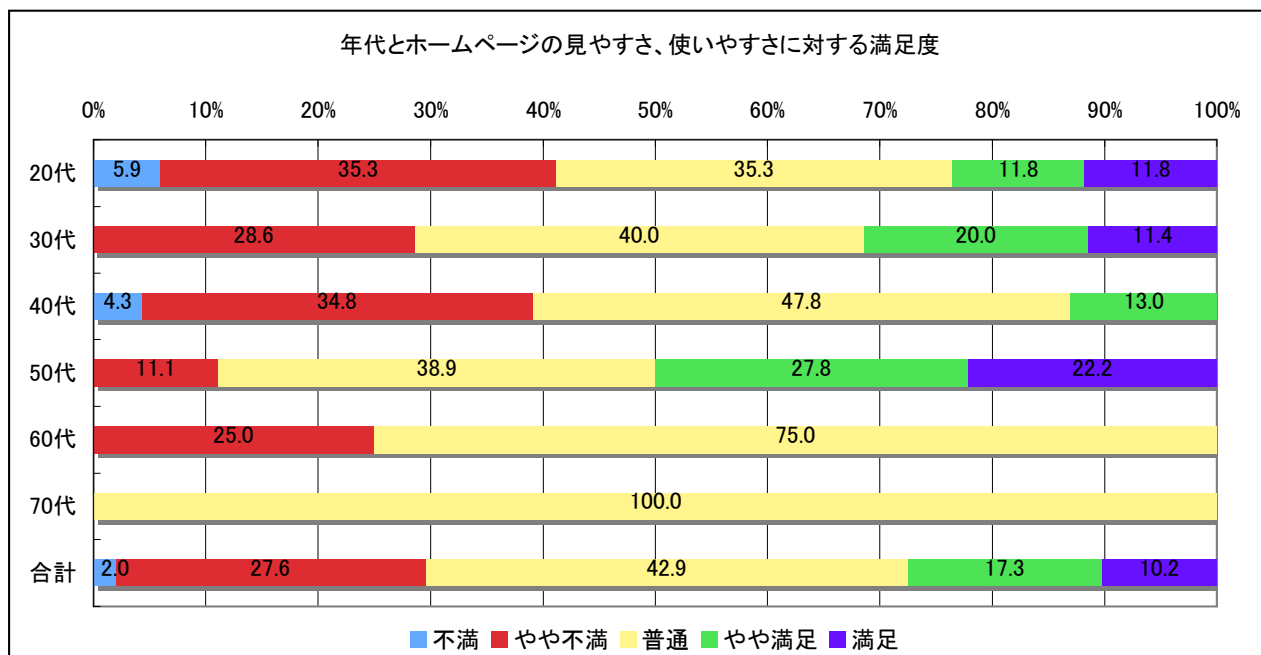
## 2. ホームページに対する満足度について

### (1) ホームページの掲載内容に対する満足度と年代



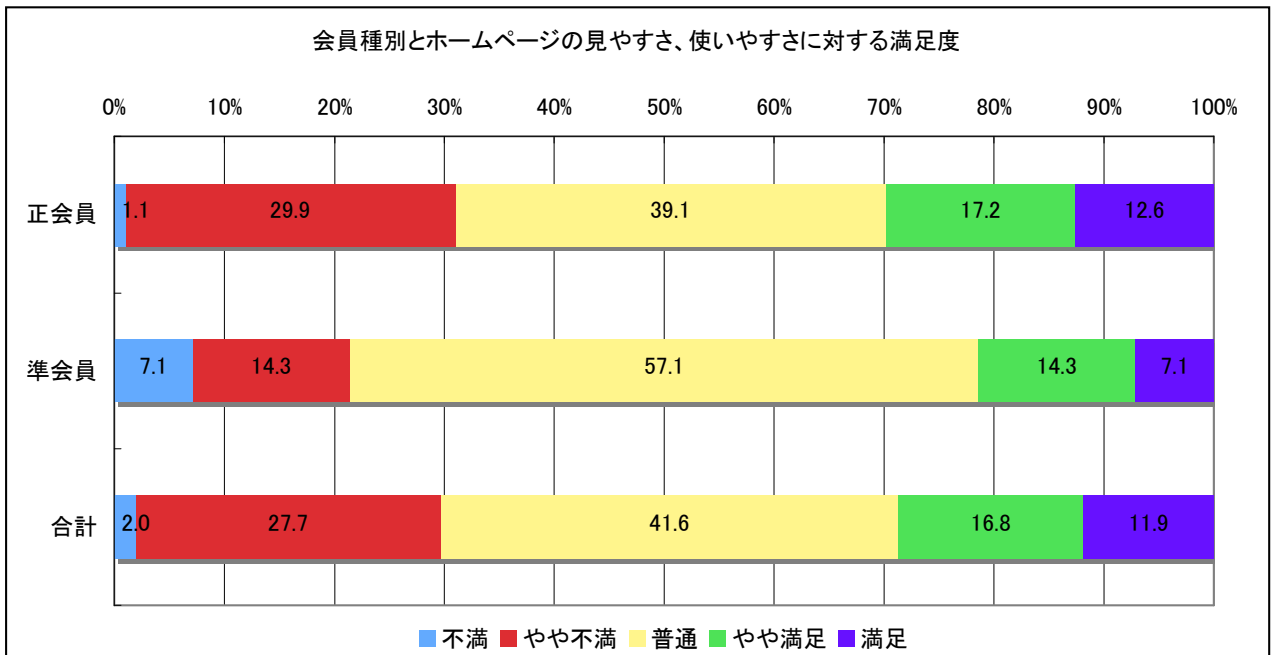
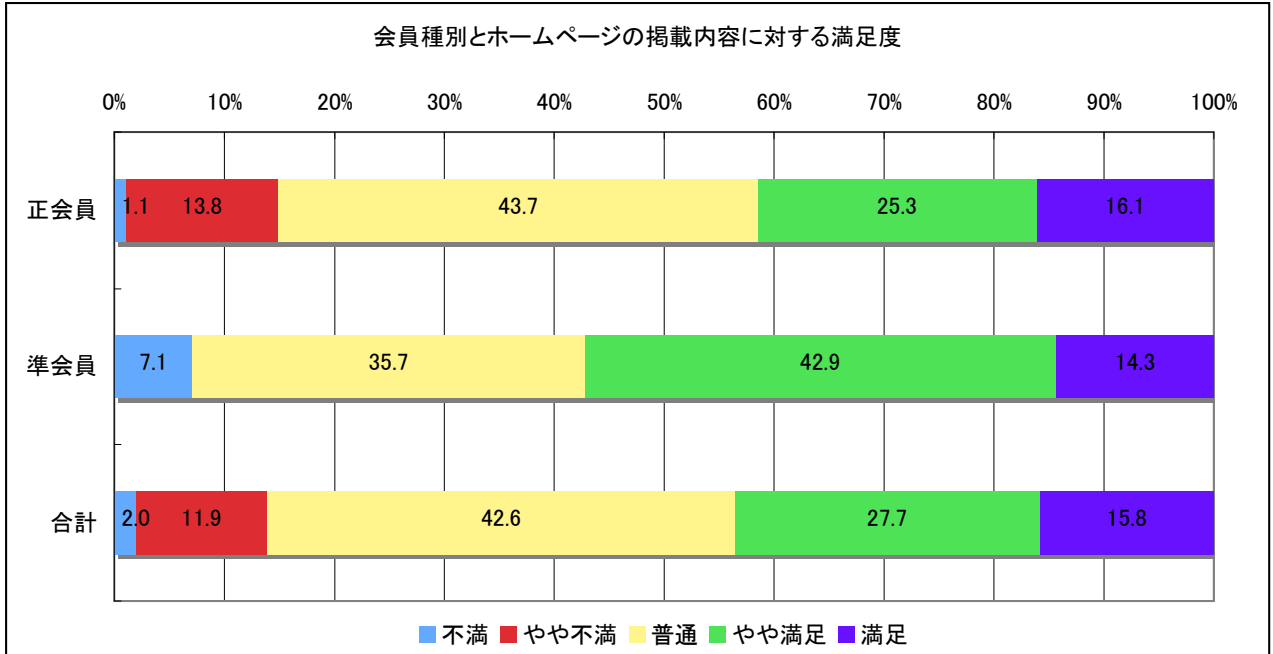
ホームページの掲載内容に不満が多いのは、20代・30代である。

### (2) ホームページの見やすさ、使いやすさに対する満足度と年代



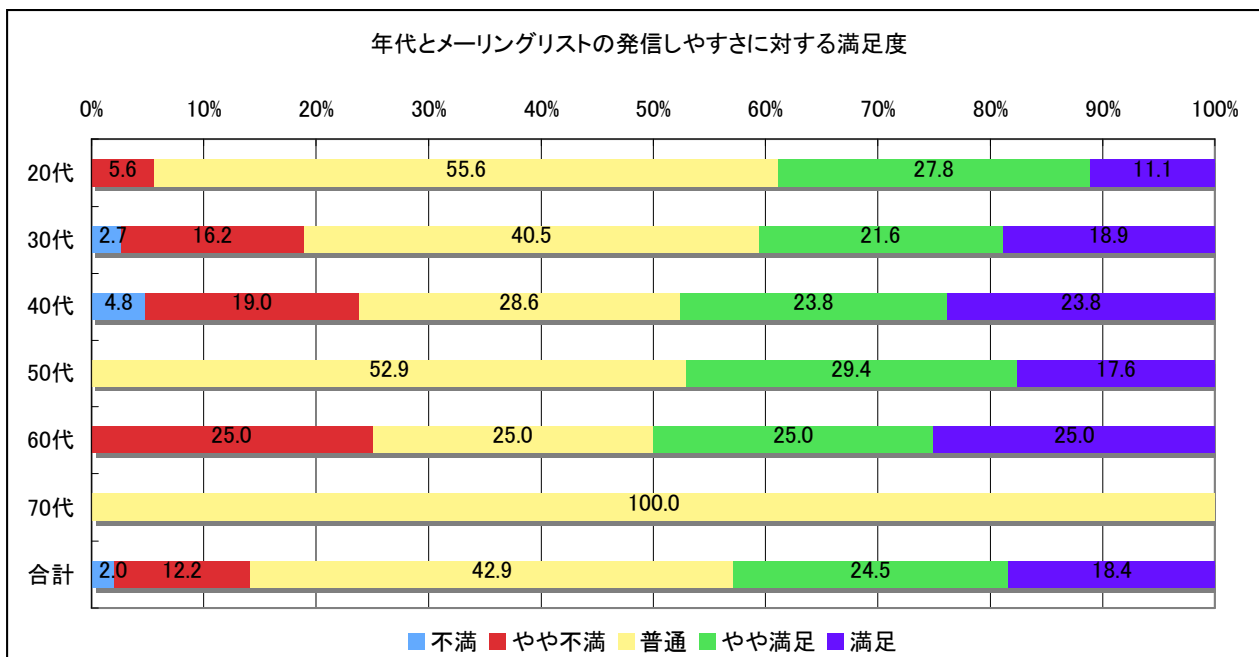
ホームページの見やすさ、使いやすさに不満が多いのは、20代・30代・40代である。

(3) ホームページの掲載内容に対する満足度と会員種別



ホームページへの不満は、正会員のほうが準会員より高い。

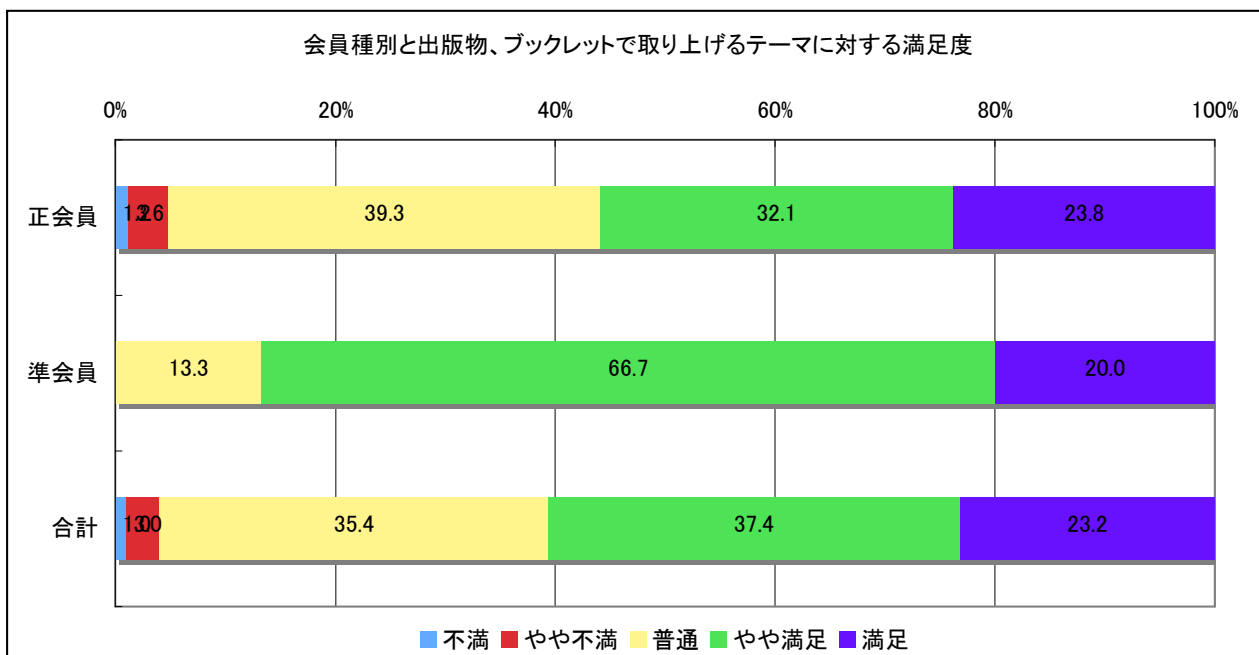
### 3. メーリングリストに対する満足度について



メーリングリストへの不満が多いのは、60代・40代・30代である。

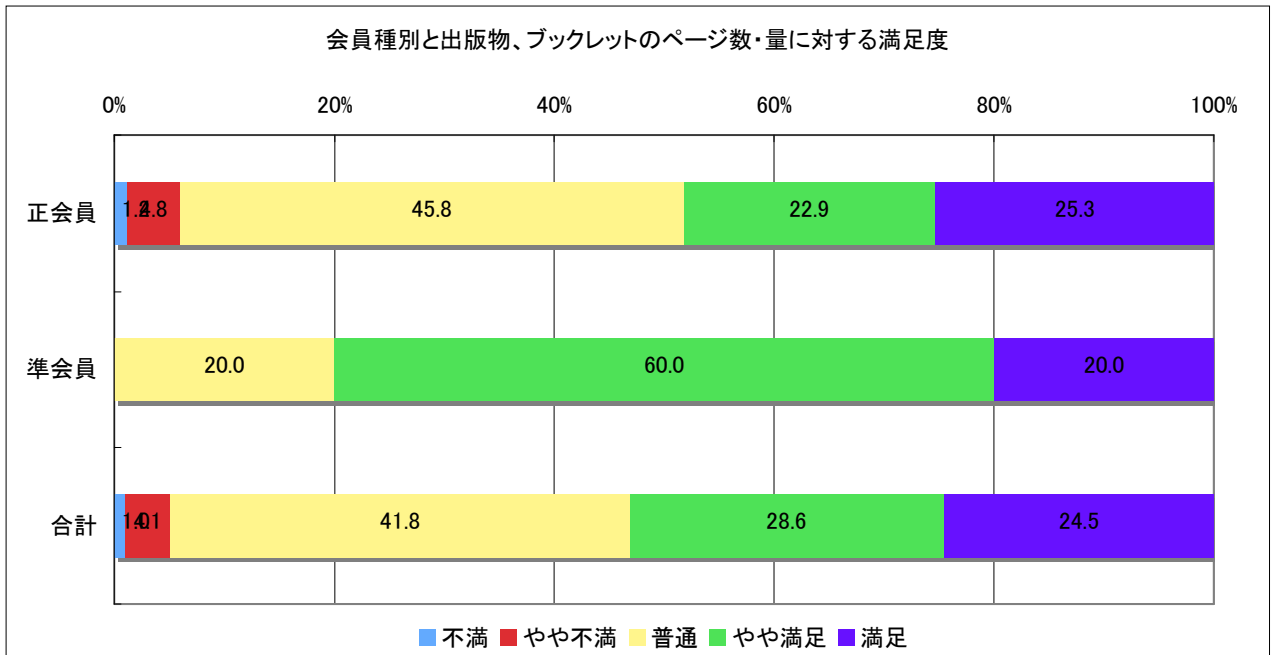
### 4. 出版物、ブックレットに対する満足度について

#### (1) 出版物、ブックレットで取り上げるテーマに対する満足度と会員種別

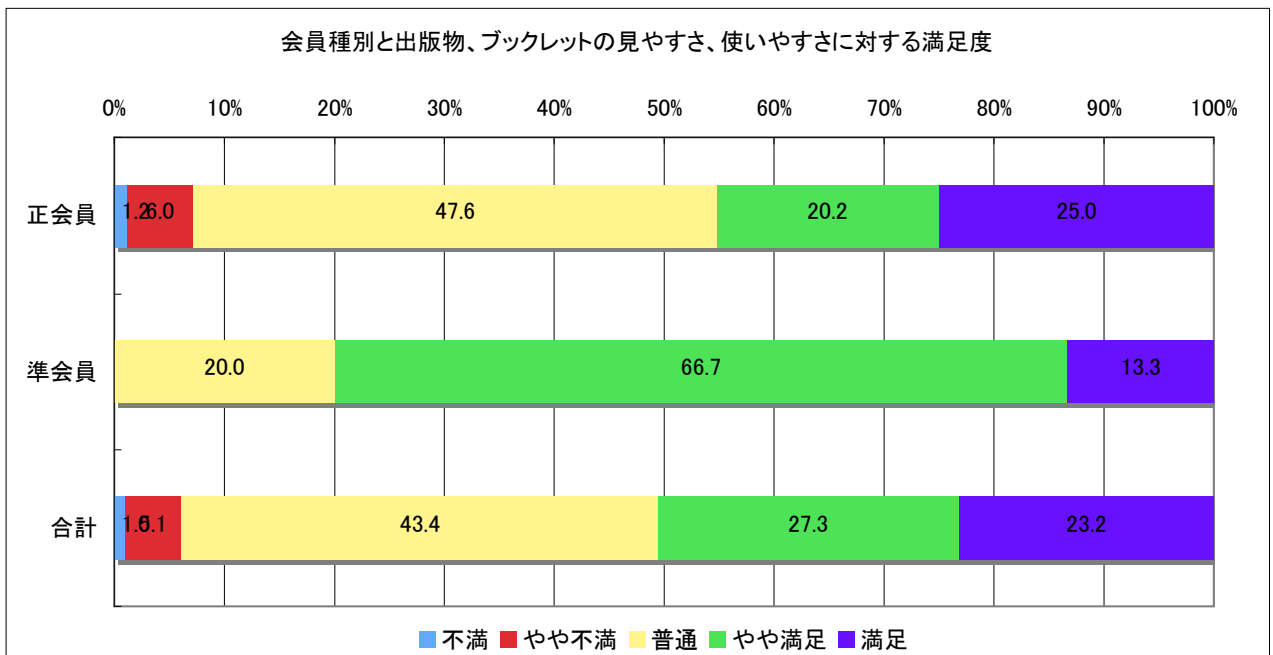




(2) 出版物、ブックレットのページ数・量に対する満足度と会員種別



(3) 出版物、ブックレットの見やすさ、使いやすさに対する満足度と会員種別



出版物、ブックレットへの不満は、正会員のほうが準会員より高い。